

<タスクシフト／シェアに関する厚生労働大臣指定講習会時の質問と回答>

・持続皮下グルコース検査（当該検査を行うために機器の装着及び脱着を含む。）

Q1：フリースタイルリブレセンサーを装着している腕でABI検査は可能か？筋電図はどうか？特にセンサーの上からマンシェットを巻くのは良いか？センサーを外さないといけないか。

A：圧迫で壊れる可能性あり。場所をずらすかセンサーを外します。
筋電図検査に関しては添付文書に記載はなく、問題ないと考えます。

Q2：ペースメーカーなど、他の植え込み型装置とは併用しないとありますが、静電気、電子レンジや電気釜など日常生活での電磁波は問題ないか？

A：添付文書に記載がないので特に日常生活や家電の制限はないです。

Q3：そのほか、注意が必要な患者さんはあるか？

A：今まで聞いた中では、乳がん切除後の患者（リンパ胸部等で循環が悪い）
→患側にはセンサー貼付しない。
透析中の患者（シャントのある腕は避ける）
→上記は添付文書に記載はありませんが、一般的な注意事項として先生方にお聞きする注意点になります。

Q4：フリースタイルリブレ・プロのセンサーを上腕に装着する理由を教えてください。

A：治験を実施した部位が上腕であるためになります。
そのため他の部位での装着は推奨していません。
(他の部位ではどのような結果が出るか分からないため)

Q5：他社ではお腹に装着するものがあります。お腹に装着しても良いでしょうか。
(お腹以外に大腿部でもOKでしょうか)

A：上記理由（Q4のA）でリブレセンサーは上腕に装着をお願いしております。

Q6：上腕部とお腹ではグルコースの値に差は見られるでしょうか。

A：リブレセンサーではおなかの方が上腕部より高めに出るようです。